

## 重点支援区域に関する情報提供

都道府県：山口県

対象構想区域	下関医療圏
<p>支援が必要な理由 (自由記載)</p>	<p>下関医療圏は、少子高齢化が全国に10年先行して医療需要が増大する中で、医師の高齢化、若手医師の減少が進行している。このような背景から公立・公的等4病院（以下「4病院」という。）では勤務医の負担は年々増加し、4病院が担っている二次救急医療体制の維持が危ぶまれる状況にある。</p> <p>このため、本医療圏においては、将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築が喫緊の課題となっており、限られた医療資源を効率的に用いることや若手医師等の育成が可能な基幹病院が必要であるとの共通認識のもと、地域医療構想調整会議（以下「調整会議」という。）において議論した事項について中間報告としてまとめられた。</p> <p>具体的には、必要な機能を満たすために求められる病院の規模等として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度急性期・急性期に特化した病床数500床以上の規模の基幹病院が複数あること</li> <li>・基幹病院は専門医研修が可能な環境が整備されている等、医師をはじめとする医療従事者にとって魅力的な病院であって、医師200名体制を目指すこと</li> <li>・二次救急医療を担っている4病院は基幹病院としては診療規模が小さいため、2025年までに段階的に再編を進めること</li> </ul> <p>等とされた。</p> <p>その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応により、調整会議での具体的な議論が進んでいない中、新型コロナウイルス感染症の対応を受けて、公立・公的病院の役割や持続可能な医療提供体制等の観点からも、早急に議論を再開すべき状況である。</p> <p>しかしながら、具体的に再編・統合の議論を進めるにあたっては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立と全国組織である3つの公的等病院の病院本部等との協議が必要となる、複数設置主体による再編統合を検討する事例であること</li> <li>・中間報告において「病床数500床以上の規模の基幹病院が複数あること」を目指す再編統合を検討する事例であること</li> <li>・異なる大学病院から医師派遣を受けている病院間の再編統合を検討する事例であること</li> <li>・以上を踏まえ、人口規模、関係者の多さ等からより困難が予想される事例であり、国が重点支援区域の優先的に選定する事例に全て該当することから、下関医療圏における地域医療構想を実現させ、将来も持続可能な医療提供体制を構築するためには、国による技術的支援及び財政的支援が得られる重点支援区域への選定が必要不可欠である。</li> </ul>

<p>対象医療機関の概要 (別添資料も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人国立病院機構 関門医療センター 400床</li> <li>・独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター 285床</li> <li>・社会福祉法人恩賜財団済生会支部 山口県済生会下関総合病院 373床</li> <li>・地方独立行政法人下関市立市民病院 376床</li> </ul>
<p>構想区域内の医療機関数</p>	<p>公立： 2 施設 ( 447床)</p> <p>公的等： 4 施設 (1, 333床)</p> <p>民間： 43 施設 (2, 564床)</p>
<p>今後の方向性 (設置主体等で考え方が異なる場合全てを記載して下さい。)</p>	<p>中間報告を踏まえ、医療従事者の確保や専門医の育成が可能な高度急性期・急性期に特化した一定規模の病院が必要であるため、二次救急医療を担っている4病院の段階的な再編を進めるとともに、各病院は連携し、分野や診療科別に役割分担を行う。</p>
<p>現在の議論の進捗状況</p>	<p>下関医療圏の地域医療構想の実現に向け、調整会議における高度急性期・急性期機能に関する協議の結果をとりまとめ、中間報告として平成29年6月に公表した。</p> <p>中間報告の内容については、総論としては合意を得られているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応により、令和2年1月以降、調整会議における再編統合に関する具体的な議論は進んでいない状況にある。</p>
<p>必要としている支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各設置主体（下関市及び各公的等病院本部）との協議を加速させるため、国の参画のもとでの関係者との意見調整の場の開催</li> <li>・複数の大学医局との協議を円滑にするための国による参画や助言</li> <li>・地域の医療提供体制や医療機能再編等を検討する医療機関に関するデータ分析等情報提供</li> <li>・病院再編・統合に関する財政的支援 等</li> </ul>
<p>その他参考となる事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下関市では、平成31年2月に総務省に対し、公立病院・公的病院等の再編・ネットワーク化を推進するため、再編・ネットワーク化計画の対象期間の延長及び財政措置について要望を行った。</li> <li>・令和3年度及び令和4年度国等の制度及び予算等に関する下関市要望活動において、以下の要望を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①総務省関係：上記要望と同様</li> <li>②厚生労働省関係：地域医療介護総合確保基金（医療分）の十分な確保及び再編・統合に伴う施設・設備整備に係る経費への更なる重点化</li> </ul> </li> </ul>

## 対象医療機関の概要

設置主体		独立行政法人国立病院機構					
施設名		関門医療センター					
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
		400	30	267	103	0	
標榜診療科		内科（総合診療）、糖尿病・血液内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、腫瘍内科、女性内科（女性総合診療）、精神科、小児科、外科、形成外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、内視鏡外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、救急科（ER24）、歯科口腔外科、麻酔科					
病床機能別病床数	2025年の予定	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
		400	30	267	103	0	
標榜診療科		内科（総合診療）、糖尿病・血液内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、腫瘍内科、女性内科（女性総合診療）、精神科、小児科、外科、形成外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、内視鏡外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、救急科（ER24）、歯科口腔外科、麻酔科					
職員数 (2022年1月1日時点)		合計	医師	看護師	技能職	事務職	その他
		676.4	79.2	392.2	126.5	69.6	9.0
病院建物建築年次		平成21年（2009年）					
医師供給大学		山口大学					

設置主体		独立行政法人地域医療機能推進機構					
施設名		下関医療センター					
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
		285	96	142			47
標榜診療科		内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、糖尿病内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科					
病床機能別病床数	2025年の予定	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
		285	96	142			47
標榜診療科		内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、糖尿病内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科					
職員数 (2022年1月1日時点)		合計	医師	看護師	技能職	事務職	その他
		476.9	44.4	243.0	93.9	29.2	66.4
病院建物建築年次		平成11年（1999年）					
医師供給大学		山口大学					

## 対象医療機関の概要

設置主体	社会福祉法人恩賜財団済生会支部					
施設名	山口県済生会下関総合病院					
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
		373	124	249		
標榜診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、膠原病内科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、外科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、小児科、小児外科、形成外科、美容外科、麻酔科、肛門外科、放射線科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、緩和ケア内科、病理診断科、神経内科、精神科、リハビリテーション科、歯科口腔外科					
病床機能別病床数	2025年の予定	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
		373	124	249		
標榜診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、膠原病内科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、外科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、小児科、小児外科、形成外科、美容外科、麻酔科、肛門外科、放射線科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、緩和ケア内科、病理診断科、神経内科、精神科、リハビリテーション科、歯科口腔外科					
職員数 (2022年1月1日時点)	合計	医師	看護師	技能職	事務職	その他
	710.7	81.7	443.7	108.9	62.4	14.0
病院建物建築年次	平成17年(2005年)					
医師供給大学	山口大学					

設置主体	地方独立行政法人						
施設名	下関市立市民病院						
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
		376	10	286	74		6
標榜診療科	内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病内分泌代謝内科、リウマチ膠原病内科、アレルギー科、緩和ケア内科、ペインクリニック内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、乳腺外科、救急科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科						
病床機能別病床数	2025年の予定	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
		376	10	286	74		6
標榜診療科	内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病内分泌代謝内科、リウマチ膠原病内科、アレルギー科、緩和ケア内科、ペインクリニック内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、乳腺外科、救急科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科						
職員数 (2022年1月1日時点)	合計	医師	看護師	技能職	事務職	その他	
	675.8	78.6	352.7	116.3	88.5	39.7	
病院建物建築年次	昭和63年(1988年)						
医師供給大学	九州大学						